

授業支援システムを利用した CALL 教室の活用例：

「CALL 英語」を中心に

Class Assistance System in the CALL Room in MPU:

The Case of “CALL English”

林 弘美・稲田俊一郎

Hiromi Hayashi and Shunichiro Inada

English/Linguistics

hhayashi@my-pharm.ac.jp, inada@my-pharm.ac.jp

1. はじめに

明治薬科大学における CALL 教室を利用した英語教育の実践については、これまで林・竹内 (2001) や林 (2013)、稲田・林 (2015)等において報告してきた。本稿では、改めて CALL 教室の設備を紹介した上で、その活用法、特に授業支援システムがあることにより授業運営が円滑に進む面があることを論じる。(注)

2. 明治薬科大学の CALL 教室設備

明治薬科大学の CALL 教室には、(1)に挙げるような設備があり、その配置は図1が示すとおりである。

(1)・教卓(4台のモニタ)

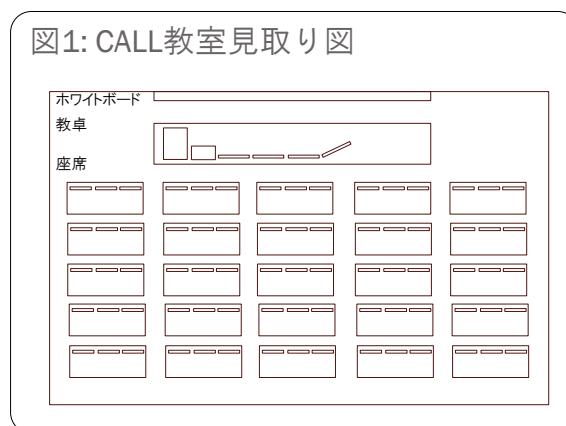
・学生用 PC 70台

PC2台につき1台のセンタモニタ

各学生用 PC にヘッドセットとマイク

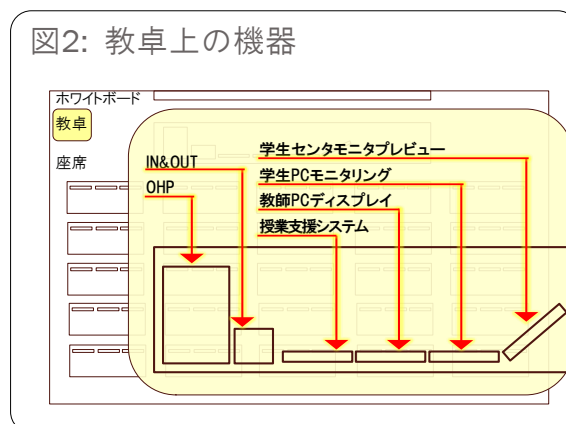
・ホワイトボード

図1: CALL教室見取り図



このうち、まず、教卓上の機器について説明する。教卓には、図 2 が示すように4台のモニタ(教師用 PC ディスプレイ、授業支援システム、学生 PC モニタリング/マルチモニタリング、学生センタモニタプレビュー)があり、授業中にはこれらを使い分けていく。

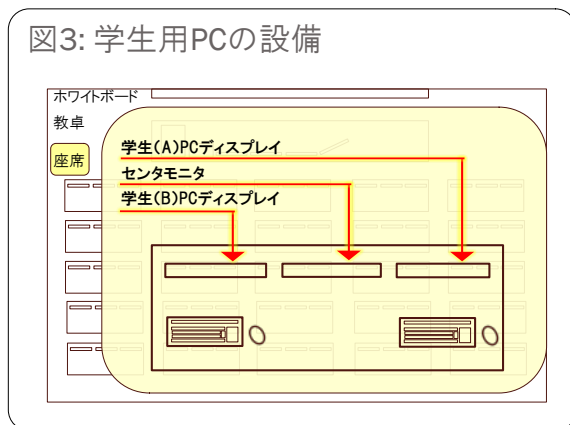
図2: 教卓上の機器



授業支援システムにより、センタモニタに提示するもの(AV 資料(DVD/書画カメラ)・教卓 PC 画面・モ

デル学生の PC 画面)を選択したり、各学生が学生用 PC で行う作業を管理をしたりする。モデル学生の PC 画面をリモートコントロールし、センタモニタに提示することも可能である。また、PC 上ですぐに正答率が提示される小テスト、アナライザ機能を利用した簡単なアンケート等も行うことができる。つまり、授業支援システムにより即時のフィードバックが可能となり、双方向の演習を行うことができる。学生用 PC の設備を示したものが図 3 である。

図3: 学生用PCの設備



3. CALL 教室の利点

このような CALL 教室の利点の一つに、ハード面でもソフト面でも同一の PC を学生が使用していることで、共通の演習を円滑に進められることが挙げられる。(更に、PC の不調に備え (別の PC に移動して演習を続行できるようにするため)この教室で毎回授業を行う科目である「CALL 英語」の履修者数は、設置台数よりも少ない数(55 名)に設定している。) 図 4 は、「CALL 英語」の授業中に取り組むべき課題を教卓 PC に提示した状態であるが、同一文書を各学生が自分の席の PC でも開けるように共通フォルダに用意しておき、制限時間を設けてリスニングに取り組んだうえで解答を記入させる、といった演習を行っている。

図4: 教卓 (教師PC=ワード文書 (課題))



また、授業支援システムにより学生用 PC をコントロールできることも重要である。全学生の PC 画面をマルチモニタリングで確認することができ、これは、試験の時などでも重要な機能である。授業中には、特定の学生の PC 画面をモデル画像として提示することができ、さらに、その画面をリモートコントロールすることもできるため、模範解答を示したり、補足説明を PC 画面上で行ったりすることも可能である。

小テストやアナライザ機能による即時フィードバックは、授業に双方向性をもたらし、授業の活性化やアクティブラーニングの実現につながっていると思われる。(小テストや即時フィードバックを授業に取り入れた実践例については、稲田・林 (2015)で報告した。)

小学校から大学に至る各教育機関において授業にタブレット型端末等を取り入れた ICT 利用の教育が広がりつつある中、LL 教室をもとにした CALL 教室の活用形態を改めて見直すことで、より効果的な教育の実現につなげていける可能性があることを指摘したい。

(注)ここで“授業支援システム”と呼んでいるものは、CALL 教室のハード面の設備に基づき教室内の全 PC を統括するソフトウェアの総称である。

参考文献

- 1) 林弘美・竹内典子 (2001) 「CALL 英語」の授業効果に関する一考察」明治薬科大学紀要 [人文科学・社会科学] **31**, 79-94.
- 2) 林弘美 (2013) 「間違い発見力と文法力の涵養: CALL 教室におけるリスニング演習を通して」明治薬科大学研究紀要 [人文科学・社会科学] **43**, 75-81.
- 3) 稲田俊一郎・林弘美 (2015) 「MY-CAST/Moodle フィードバック機能の英語学習への援用」第 18 回 MBI 研究会. 2015 年 11 月 6 日.